

～宜野湾市上下水道事業経営戦略の策定に当たって～

宜野湾市の上下水道事業は、お客さまへの利便性の向上を図ると共に、水道事業の企業としての経験、知識を下水道事業にも活かすことで効率的な事業運営を図る為、平成30年4月1日より下水道事業に地方公営企業法の全部を適用し、宜野湾市上下水道局として新たに地方公営企業経営を推進しております。

本市の水道事業は昭和34年に、下水道事業においては昭和46年に事業が開始され、これまでに多くの管路や施設を構築してきました。事業開始から長い年月の経過と共に管路や施設の老朽化が進んでおります。今後はこれらの老朽管路等の計画的な更新事業や耐震化事業を推進することが重要になります。さらに、西普天間住宅地区等の大規模宅地開発による新規管路の整備等新たなインフラ整備も急務となっております。

上下水道事業における新規管路の整備や老朽化が進んだ施設の更新事業には多額の設備投資を要します。そのため公営企業におきましては、持続的な成長に向けた経営の基盤強化が急務となっておりますが、今後の両事業の経営環境は厳しさを増すことが想定されています。

この度策定した「宜野湾市上下水道事業経営戦略」はこうした状況を踏まえ重要なライフラインである水道、下水道を将来にわたり安心、安全にお客さまへ供給及び処理を実現するため、今後10年間の取組を取りまとめたものでございます。

頻発する地震や集中豪雨等の自然災害への備えなど様々な課題に直面していますが、大自然とともに営む水環境を保全し、健全な水循環を守るため水道事業及び下水道事業は未来へ引き継ぐ必要があります。私たち宜野湾市上下水道局は、本経営戦略の下、経営基盤の強化を図るとともに、災害に強く信頼されるインフラを目指して、お客さまとともに輝かしい未来へ踏み出します。

平成31年3月

宜野湾市上下水道事業管理者  
上下水道局長

島袋 清松

